



岡村病院  
院内報

# 歩 (あゆみ)

第 26 号

発行 岡村病院  
編集 歩 (あゆみ)  
編集委員会  
平成 9 年 10 月 28 日

## 岡村病院 基本理念

私たちは、患者さん本位を第一に考え  
高度な専門医療技術をもって  
地域社会に貢献することを目指します。



シンガポール・マーライオン公園 (H9年9月、職員旅行にて)

## チャレンジ3

### CHALLENGE・3

今月のことば

## 「学 ぶ」

**1**  
私たちは、いつも「おもいやり」と  
「積極性」をもって患者さんから愛される  
病院づくりにチャレンジします！

**2**  
私たちは、高度な医療技術と専門性を  
もって、地域社会からより一層信頼される  
病院づくりにチャレンジします！

**3**  
私たちは、一人一人が専門家としての自負  
と責任をもち、明るく、さわやかで発展的  
な病院づくりにチャレンジします！

患者さんが私共に期待されているのは、深い知識、秀れた技術、そして、やさしい心ではないかと思います。

先頃、東京で開かれた日本病院学会に出席して帰った人達の報告を聞いても、多くの事を学び、感じる事が出来た。私達はまだまだこれから学ばなければならない事、しなければならぬ事が沢山あると思わされた、と言っていました。

「井の中の蛙」にならないで、広い視野で学び、患者さんの期待にこたえられるよう努力して行きたいと思っています。

その気になれば、学ぶ機会はいくらもあると思います。

# 医療費の不正請求は 存在するか



院長 岡村 高雄  
(心臓血管外科科長)



平成9年8月31日付、朝日新聞朝刊に、「医療費2000億円払いすぎ」の記事が報道されたのをご存知の方も多と思います。又、医療改革が多くのマスコミで議論される中でも、医療の不正請求、過剰請求が取りあげられておりますが、実体は本当なのでしょう。この度、私共の病院の実際を明らかにして、事実の有無を検証したいと思います。

病院や診療所は医療費の内容を診察報酬明細書(レセプト)に記載して医療費の支払い側である社会保険診療報酬支払基金や国民健康保険団体連合会に請求をし、ここより医療費が支払われております。社会保険で言えば、医療費の8割が社会保険診療報酬支払基金より支払われ、残り2割が患者さんご自身が病院の窓口で支払うわけであり、支払い側である社会保険診療報酬支払基金や国民健康保険団体連合会では診療報酬明細書(レセプト)の内容をチェックして、過誤のないようにしており、例えば計算上の誤りがあったり、保険請求上の解釈の相違があったりする場合には、社会保険診療報酬支払基金よりは月別に増減点連絡書が、国民健康保険団体連合会よりは過誤精算通知書が送られて参ります。新聞報道によるとこのチェック時に年間2000億円以上が過剰、又は不正に請求されており、これは医療費総支払額の1%程度であり、これは氷山の一角でしかないと書かれております。しかし、本年8月に私共へ送られてきた社会保険診療報酬支払基金よりの増減点連絡書を例にしますと、1ヶ月間の減点、つまり支払い側からすると請求しすぎているとされた合計金額は30,300円であり、私共が請求すべきであったのに、請求していない分として7,000円が報告されております。請求し過ぎとされた内容は、糖尿病患者さんの特殊な血液検査を月2回した為に、月に1回分しか支払いませんとし

て減額されたものや、CT検査をした時に、私共ではX線フィルムを5枚使用したので請求したにもかかわらず、4枚しか認めませんから減額しますと言うような細かい事柄であります。私共にすれば必要な為に検査を行なったのであり、故意に回数を増したり、X線フィルムの枚数をふやしたものではありません。

国民健康保険診療報酬等過誤精算通知書では、1ヶ月で302,877円が減額されております。その内訳の中で最も多いのは内服薬及び注射薬で、101,753円であります。この内容は例えば高脂血症の治療薬を2錠1回に処方したのを1錠しか認めないとするものや、胃薬の1ヶ月投与を認めず、2週間に減額されたもの等が含まれております。私共は必要な薬を最少限度に処方することを基本的な考えにしておりますが、コレステロールのかなり高い人には1回に2錠の処方をしており、これは一般的に認められている筈であります。過剰として減額されております。その他、多くの細かい事により減額されておりますが、私共は新聞報道にあるような架空請求や意図的に水増し請求をするような事は今まで一度も行なったことはありません。

新聞によると「医療費2000億円払いすぎ」の見出しになっております。しかし、レセプトの過誤精算通知書で過誤と判定された場合、私共は再請求をしますが多くの場合は認められず、この分は支払いを受けておりません。この為「払いすぎ」という事はない筈であります。

現在までに、残念ながら一部の病院等で看護婦さんを水増しして、診療報酬を多額に受け取ったり、又、ある病院では入院日数を実際より長く請求をしている等の事があったのも事実であります。しかし、私共を含めて、多くの医療機関は地道に地域の人々の健康の保持の為に努力をし、不正は全くないものと信じております。

医療に対する信頼が次第に希薄になっていっている現在、私共も患者さんの信頼を得るべく職員一同全力をあげておりますし、医療に関する情報公開が必要と考えられ、積極的に事実を明らかにしたいと思っております。

本稿で明らかにした様に「2000億円の医療費払いすぎ」は明らかに事実と反しており、マスコミにおいては、事実に基づいた誤解のない報道を期待するものであります。

お く す り

## い・ろ・ほ (7)



薬局長 田村麻美子

あなたの健康を守るお薬、正しく飲めていますか。朝のがあったり、夕のがあったりで、ややこしい、ひとつづつ飲んでたら飲んだか飲まなかかわらなくなった。きちんと飲んでるはずなのに余ってしまった、等、また長期間同じ薬を飲んでるとつい忘れることもあるでしょう。

私達は患者さんに正しく毎日忘れることなくお薬を飲んでいただけるよう一回毎のお薬を一袋にまとめる一回量調剤も行っております。飲み方が複雑でわかりにくい、包装からの錠剤、カプセル剤の取り出しが困難、ケアする方の手間軽減のためなどで一回量調剤を希望される方は薬局までその旨お伝え下さい。ただし、一回量調剤の場合、少し時間がかかりますので、御諒承下さい。

何に効く薬か、よくある副作用等も説明させてもらっていますが、不十分な時もあり申し訳なく思っております。御意見、御希望、御質問等お気軽に声をかけて下さい。

## 入所サービス等について

医療相談室コーディネーター

藤 田 みよこ

### (1) 特別養護老人ホーム

おおむね65歳以上の高齢者で、身体上または精神上著しい障害があるため常時の介護を必要とし、自宅において介護を受けることが困難な方が入所できる施設です。

→ 利用は市町村の老人福祉担当窓口へ

### (2) 養護老人ホーム

おおむね65歳以上の高齢者で、身体上、精神上、環境上の問題があり、かつ経済的に困窮している方で、自宅において生活することが困難な方が入所できる施設です。

→ 利用は市町村の老人福祉担当窓口へ

### (3) 軽費老人ホーム

家庭環境、住宅事情などの理由で、自宅において生活することが困難な低所得の60歳以上の高齢者が入所できます。

利用は直接施設に申し込んでください。なお、所在地などについては、都道府県、または市町村の老人福祉担当窓口にお尋ね下さい。

### (4) ケアハウス

60歳以上（夫婦で入所できる場合はどちらかが60歳以上）の高齢者で、自炊ができない程度の身体機能の低下があるか、または、高齢などのため独立して生活するには不安がある方で、家族による援助を受けることが困難な方が対象となります。

※入居を希望する方は、直接施設に申し込んでください。

### (5) 老人保健施設

疾病や負傷により、寝たきりまたはこれに準ずる状態にある高齢者に、看護や医学的管理下における介護、機能訓練、必要な医療を行いながら、個々の利用者に適切な日常生活上のサービスを提供する施設です（利用は原則的に3ヶ月です）。

※利用を希望される方は老人保健施設に直接お申し込み下さい。

### (6) 老人病院（病棟）

病状がほぼ安定した状態にある慢性疾患を主とした高齢者に、注射や検査などの積極的な治療よりも、主として日常の介護やリハビリテーションを目的として入院治療（療養）を行う病院（病棟）です。

→ 利用は直接医療機関へ

## 病院へ来ると心が安らぐ

高知市 中内 貴代

主人が病気で3年前から入退院を繰り返して、その看病疲れもあって体調が悪くなり、それに脈が時々結滞するような事があったので、主人がかかっていた病院で診てもらったら、心臓が肥大しているという事でした。

ところが、知人から「心臓なら岡村病院の院長先生が専門だから、是非、岡村病院へ行きなさい」と強くすすめられ、この病院に来て院長先生に診てもらいました。先生はていねいに説明して下さい、また、こちらの言う事もよく聞いて下さって、心の安らぐ思いがしました。心臓の方は大した事はないという事でしたが、疲れもひどかったので、4月に入院しました。

病院はきれいだし、5階のお城の見える部屋に入れてもらいましたので、見晴らしはよく、看護婦さんも皆やさしく、これは最高と思いました。

約1ヶ月で退院しましたが、もっとおりたい気持ちでした。先生が気安く聞いてくれますので、他の病気の時も遠慮なく相談しています。

今は、神経科の病院を紹介して頂いて、そちらにもかかっています。

岡村病院では通院で毎回2週間分の薬をもらっていますが、何かあるとすぐに来て相談します。病院へ来ると心が安らぎます。

## 四階の窓から



4F 安本 宏子

病室の窓からちいさな光がチカッと見える。ぼんやりした目とガラス越しにユラユラ動いているようだ。夜間飛行かな。少し時間がたったら下へ降りた。星だ。明け方は二等辺三角形の星がみえる。下界が明るいので、目をこらしても五時すぎ、フィと消える。

昼間起き上ったの窓は土佐女子寮と四銀の寮がみえる。毎日位前を通っていたのに、道巾がせまいのと上を見る気がなかったので、SEVEN SEASのビルは初めてお目にかかったような気がする。

何かにすぐれている人がすぐれた人をみわけるのは同じ高さにいるせいだろうと思う。そして子供の視線の高さにあわせるのも同じだと思う。こんな高いところに住んだことのないものは不思議だし真夜中の空をみるのもずいぶん久しい。

三ヶ月の入院、この間何をしようかと思ったが一ヶ月、あっという間にすぎた。

先生、看護婦さん、友人、家族、沢山の人の親切にあまえている。居ごちがよすぎて帰る

つもりがないのではないと言われる。

退院したらきちんとした生活をしよう。整理もしよう。と決心の下から、あとの二ヶ月はゆっくりボーとするのもいいか。と、すぐ生来の怠けぐせが出る。

振袖を着て自転車に乗った夢をみたと言ったら「根性があるネエ、まだこりんとみえる」

三ヶ月位では、骨折した足がなおるようには怠けぐせの、甘えぐせはなおらんとする。

### 第6回 健康講座(9月20日)の報告

今回は当病院副院長・整形外科科長谷吉彦先生を囲んで、骨粗しょう症についてお話をお聞きました。参加者44名。

骨粗しょう症についてのビデオ観賞のあと、谷先生より「骨を大切にー骨粗しょう症予防をめざしてー」という講演があり、そのあと「カルシウムがたくさん摂れる料理紹介」(管理栄養士)、質疑応答がありました。

ご出席の方々から「とても参考になった。すぐに実行したい」と言って下さり、有意義な会でした。(森光)

## 俳句ポスト

水田雅吉子

\*小鳥来て子のもの我のもの乾く 青木静枝  
たくさんご投句有難うございました。佳句がいくつもありましたが、大景をとらえ、氣息のゆったりとしたこの句に惹かれました。日本で越冬する鳥の群れが、晴れた秋空を渡る様は美しいものです。(小鳥来る)が秋の季語です。

平凡な暮らしの中に、日々再々幸せを思われる作者なのでしょう。季節、自然への感謝にあふれた御句です。

\*柿吊れば人在家に見えてくる 秋山武子  
郊外を歩いてみると、屏も垣根もない、昔ながらの農家がまだ残っています。一見空き家のようにも、そこには吊るし柿など下がっていて人懐かしい思いが湧きます。掲句は実際に空き家だったようです。「ちょっと軒下を拝借…」ということでしょうか……。

\*どこからか木犀におう夜の道 奥山貴司  
私、先夜UFO(ユーフォー)を見ました。絶対に普通の星ではありませんでした。その感激のさなか、花のような濃い香りを感じて、その後近隣を捜すのですが、それらしい花は見当たらないのです。この作品にも、どこかそんなミステリアスな香りがしませんか……。

\*濃く薄く流るる速し野分雲 高松和永  
ちょうど今頃(十月頃)吹く強風を、野分けといえます。野も草も吹き分けるというのでこの名があります。雲の有り様が、まるで見えてくるようで、気持ちのよい写生句です…。(流るる)は終止形になりますので、段節ができてしまいます。(流れて)で良いのではないのでしょうか……。

\*夢さめて老いる淋しさ蟬時雨 村上ミズエ  
何だか身につまされる一句です。うたた寝から覚めた気怠さを書くことで、心情がリアルに表現されています。盛夏、蟬の声の明るさで少し救われる気がします。お一人でお暮らしのご様子ですが、句会などに参加されて、外にお出かけになりませんか。

\*残る蚊や入院のメモこまごまと 八木 敬  
入院を直前にして詠まれた作品のようです。二句出句なさっていますが、どちらも潔い詠みぶりです。季語の(残る蚊)が偶然のように置かれています。身支度の心浮き立たぬ様子を、さり気なく暗示しています。

\*名月や客あり夜更けまで語る 青木静枝  
\*鷹渡る眼鏡遠近両用に  
\*苦瓜を食べてギリシャへ発ちにけり 秋山武子  
\*競うごとぎんなん捨う女たち 奥山貴司  
\*草々の中で尾を振る猫じゃらし 高松和永  
\*同部屋でいたわり合いし友恋し 村上ミズエ  
\*入院の契約書書く秋燈下 八木 敬  
★鍵光り何か嬉しき秋の昼 雅吉子

## ひろば

### シンガポール旅行 に行つて

薬剤師 常光さゆり



9月18日、シンガポールに向けて出発。  
海外旅行は一昨年、院内旅行で行ったグアムに続いて2度目となります。

この旅行に行くにあたって私が一番楽しみにしたのはシンガポール航空の飛行機に乗る事!!  
とってもサービスがよくって、当たりの飛行機では、個々にビデオを見たりゲームをしたりで

きるシステムになっており、長いフライトも退屈せず楽しく過ごせるようになっていていたからなんです。幸運にも行きは、当たりに乗る事ができ、機内ではビデオを見つつワインを飲んだりなんかして快適な時間を過ごせ先の良いスタートを切る事ができました。

そしてシンガポールに到着。スマトラ島の火災の煙の影響で空はくもってます。街は工事中の所が多いけど、これからどんどん近代化してきれいになって行こうという気配でなんとなくエネルギーを感じます。

安全な国らしく、自分達でタクシーや地下鉄を使って色々な場所に行く事ができました。

現地の添乗員さん。屋台で出会ったおじさんタクシーの運転手さん。言葉では全部分かり切

る事ができなかったけど、一生懸命私達にシンガポールの食べ物や、きまり事なんかについて教えてくれました。自分達が行った所は、いわゆる観光地ばかりだったのですが、その中でも今回は、写真やテレビを見てるだけでは経験

する事ができない新しい発見をする事ができ、本当に楽しい旅行になりました。

こんな事でもないとなかなか海外旅行に行く事もないので来年も又、こんな旅行ができればと今から楽しみにしています。

## 麻酔科科長に



西竹 美恵 先生  
香川県出身  
高知医科大学医学部卒  
同 付属病院麻酔科勤務  
趣味 絵画鑑賞

## 非常勤医師紹介



植田 一穂 先生  
長崎大学医学部卒  
医学博士  
専門 内科(糖尿病、喘息・アレルギー)  
植田医院院長  
(高知市廿代町)

## 総婦長に



土田 富子 さん  
国立療養所兵庫中央病院  
附属高等看護学院卒  
同 病院看護婦長  
趣味 写真

## 日本病院学会に参加して

看護婦(外来) 秋山 明美

6月12、13の両日、東京都武蔵野市で開かれた第47回日本病院学会に当病院から私を含め3名が参加させていただきました。

柳田邦男先生はじめ、何れの講演も心に残る有益なお話でした。その中でもおもしろかったのは大成功したアメリカの病院の話です。

その病院では患者さんをお客様としてとらえ、精一杯のサービスをし、そのお客様の口コミで顧客を増し、評判が評判を呼び、宣伝費ゼロで大成功したという話です。アメリカならではの感じですが、日本でもあり得そうな話です。

それに比べると、当院では言葉使いや態度、配慮など、まだまだで、これから私達のしなければならぬ事は沢山あると思いました。

人の問題など、色々あると思いますが、とりあえず私達が今しなければならぬ事は、1人でも多くのお客様から心の悩みや不安を取り除くこと、不快な思いをさせない事であると思います。思いやりのある対応を示し、日々の忙しい業務の中でも、外来看護婦のディスカッションの場を作り、次のステップに進み、そしてまた、術前、術後訪問のマニュアルを作り、実行しなければならぬと思いました。

日本病院学会に参加させていただいて、沢山の事を学び、感じる事ができました。この事は私達の中だけに留めず、伝達し、発展させて行きたいと心からそう思っています。

## ニューフェイス



田村 幸美 さん  
事務員  
龍馬学園  
医業福祉専門学校卒  
趣味 音楽

## 退職

- …… ごくろうさまでした。
- ▶ 梶原 初子 さん(給食係) 9月30日
  - ▶ 溝江 和子 さん(管理栄養士) 10月10日
  - ▶ 須藤 福子 さん(総婦長) 10月30日

## お知らせ

インフルエンザの予防接種を11月1日より始めます。予防接種は2回行いますので2回目を1カ月後に受けて下さい。

(詳しくは受付でお聞き下さい。)

